学校番号	T3029

令和８年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	歴史総合	単位数	３単位	年次	３年次
使用教科書	「高等学校　改訂版　新歴史総合　過去との対話、つなぐ未来」　（第一学習社）						
副教材等	使用しない						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・歴史的事象に対し、時間（縦）のつながりと同じ時代の世界の諸地域や日本という空間（横）のつながりを整理し、世界諸国相互の関連や地理的要因、人々の生活など多角的に考察させる。
・歴史を背景とした国際情勢や、現在の日本の在り方を考える。

2　学習の到達目標

社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を次のとおり育成することをめざす。
（１）近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、世界とその中の日本を広く相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解するとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。
（２）近現代の歴史の変化に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。
（３）近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、世界とその中の日本を広く相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解するとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けている。	近現代の歴史の変化に関わる事象の意味や意義、特色などを、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を身に付けている。	近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとする態度や、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我かんが国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを身に付けている

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期	第1部歴史の扉	・歴史と私たち ・歴史の特質と資料	a：日本や世界の様々な地域の人々の歴史的な営みの痕跡や記録である遺物、文書、図像などの資料に基づいて歴史が叙述されていることを理解している。 ｂ：近代化、国際秩序の変化や大衆化、グローバル化などの歴史の変化と関わらせて、私たちの生活や身近な地域などに見られる諸事象と日本や日本周辺の地域及び世界の歴史との関連性について考察し、表現している。 ｃ：諸資料を活用し、課題を追究したり解決したりする活動に主体的に取り組もうとしている。	定期考査 小テスト	定期考査(論述) 感想文	観察(学習状況) プリント

	第2部　第1章　近代化と私たち近代化への問い	・第1節　18 世紀のアジアの繁栄 ・第2節　工業化の進展と国民国家の建設 ・第3節　結び付く世界と日本の開国 ・第4節　帝国主義とアジア諸国の変容	a:18 世紀の生産と流通、18 世紀後半以降の欧米の市民革命や国民統合の動向、日本の明治維新や大日本帝国憲法の制定などを基に、立憲体制と国民国家の形成を理解している。 b: 帝国主義政策の背景、帝国主義政策がアジア・アフリカに与えた影響などに着目して、主題を設定し、アジア諸国とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、帝国主義政策の特徴、列強間の関係の変容などを多面的・多角的に考察し、表現している。 c:諸資料を活用し、課題を追究したり解決したりする活動に主体的に取り組もうとしている。	定期考査 小テスト	定期考査（論述） 感想文	観察（学習状況） プリント
後期	第2部　第2章　国際秩序の変化や大衆化と私たち	・第1節　第一次世界大戦と大衆社会 ・第2節　経済危機と第二次世界大戦 ・第3節　第二次世界大戦後の世界と日本	a:第一次世界大戦の展開、大衆の政治参加と女性の地位向上、世界恐慌、ファシズムの伸張、日本の対外政策、第二次世界大戦の展開、国際連合と国際経済体制、冷戦の始まりとアジア諸国の動向について理解している。 ｂ:国際協調体制の動揺の要因、二度の世界大戦下の社会状況や人々の生活、日本に対する占領政策と国際情勢との関係などを多面的・多角的に考察し、表現している。 c:諸資料を活用し、課題を追究したり解決したりする活動に主体的に取り組もうとしている。	定期考査 小テスト	定期考査（論述） 感想文	観察（学習状況） プリント

	第2部　第3章　グローバル化と私たち	・第1節　冷戦と脱植民地化・第三世界の台頭 ・第2節　世界秩序の変容と日本	a:冷戦下の国際政治の変容、市場経済の変容と課題、冷戦終結後の国際政治の変容と課題を理解している。 b:冷戦下の世界経済や地域連携の特徴、経済成長による生活や社会の変容、冷戦終結後の国際政治の特徴と日本の役割などを多面的・多角的に考察し、表現している。 c:諸資料を活用し、課題を追究したり解決したりする活動に主体的に取り組もうとしている。	定期考査 小テスト	定期考査（論述） 感想文	観察（学習状況） プリント

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度